

会社・事業所名 (フリガナ)

ホンシャ

発表者名 (フリガナ)

シミズ テツヤ

株式会社シンテックホズミ 本社

清水 鉄也

【1】会社紹介

本社:愛知県みよし市
設立:1992年9月1日
従業員:500人

未来に向かって挑戦し続けるカンパニー

搬送システム
DXソリューション
ITソリューション
ファクトリーソリューション

【2】メンバー紹介

コーポレートIT室

世話人:松下 AD:中川

SMARTチーム
・基幹システム(企業の基幹業務をPCで管理するシステム)の構築・改善

IT-Cチーム
・情報インフラ整備と情報セキュリティ確保

メンバー: 安井, 井上, CL:清水, TL:斉藤, 関谷

【3】サークルレベル

レベル

現状: C (x=2.8, y=3.0) → 目標: B (x=3.0, y=3.0)

【サークルレベル目標】
全項目3点以上獲得し、Bゾーンに到達するぞ!

【4】業務紹介

コロナが日本で本格的に感染し始めた頃...

濃厚接触 出勤停止

このままでは仕事が出来なくなってしまう...
何とかしなければ!

【5】業務紹介

対策:リモートワークが実施できるよう環境を整えた

遠隔で会社PCを操作 社内PCから社内サーバにアクセス

各部で余ったPCをCIT室で貸出せる状態にして貸出 各部でノートPC購入

【6】テーマの選定

コロナから3年がたち

社内を見渡すと

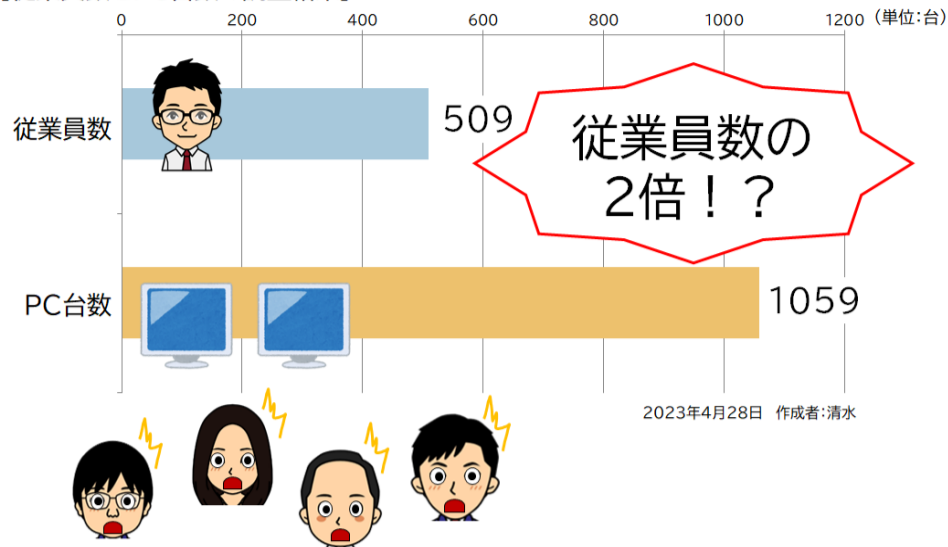
やけにPCがある

QCサークル紹介	サークル名 (フリガナ)		発表形式
	IT'sサークル (イッツサークル)		プロジェクト
本部登録番号		サークル結成年月	2015年4月
メンバー構成	5名	会合は就業時間	(内)・外・両方
平均年齢	33.6歳 (最高 43歳、最低 22歳)	月あたりの会合回数	4回
テーマ暦	本テーマで 8件目 社外発表 2件目	1回あたりの会合時間	1時間
本テーマの活動期間	2023年 4月 ~ 2023年 11月	本テーマの会合回数	32回
発表者の所属	株式会社シンテックホズミ 人事総務部コーポレートIT室	勤続	18年

【7】テーマの選定

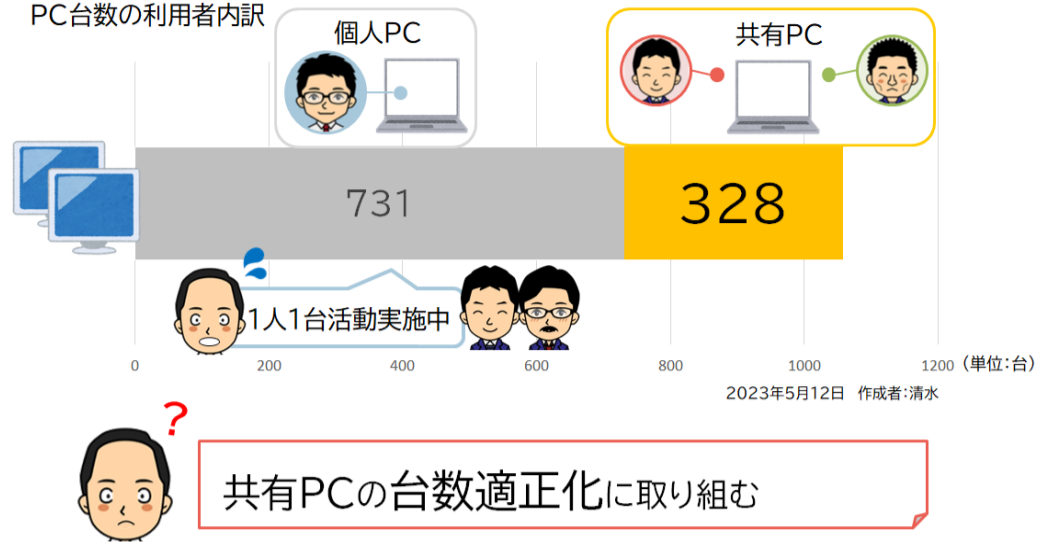
全社のPC台数を確認

【従業員数とPC台数の調査結果】



【8】テーマの選定

PC台数の利用者内訳



【9】活動計画

STEP	項目	担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1	テーマの選定	清水	→	→						
2	活動計画	清水	→	→						
3	現状の把握	安井			→	→	→	→	→	→
4	目標設定	井上				→				
5	要因の追及	安井								
6	対策の検討	清水								
7	対策の実施	関谷 齊藤								
8	効果の確認	井上								
9	標準化と管理の定着	関谷								
10	反省と今後の課題	清水								

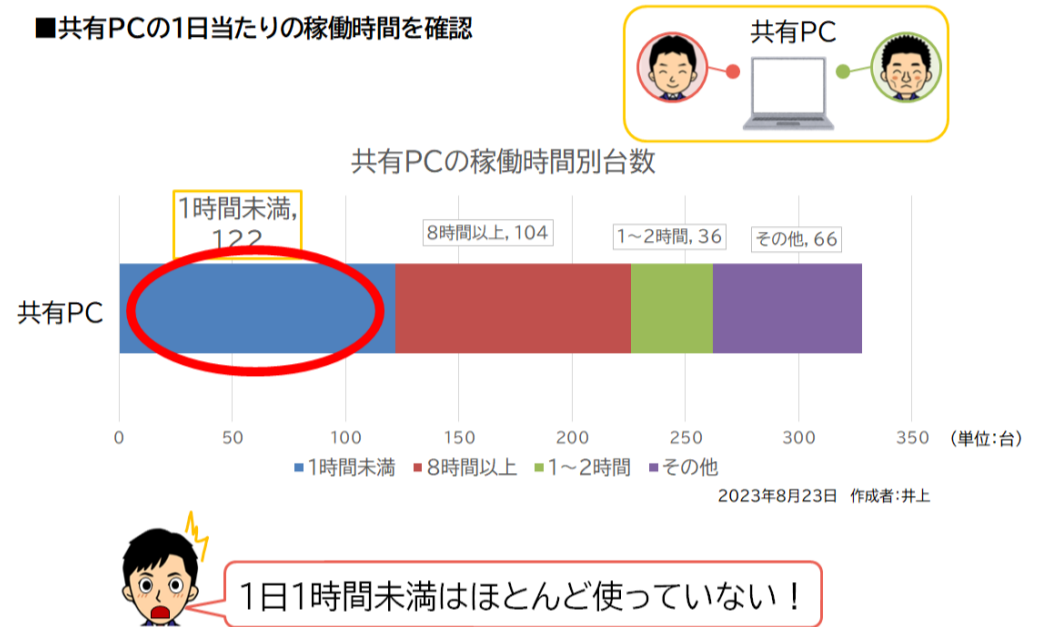
遅れ発生

MTG回数を増やし遅れを取り戻した!

2023年8月30日 作成者:井上

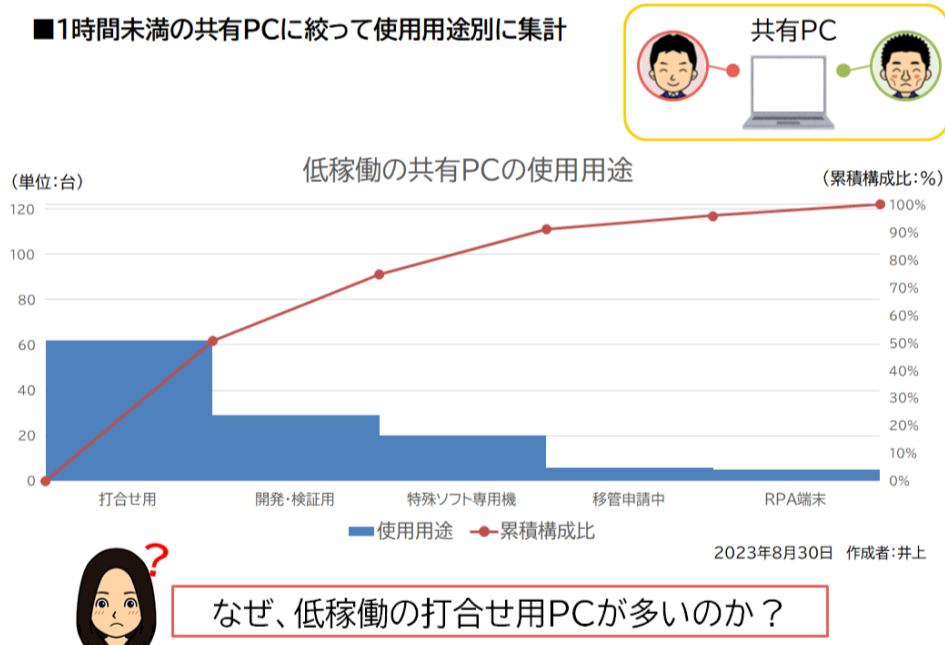
【10】現状の把握

■共有PCの1日当たりの稼働時間を確認



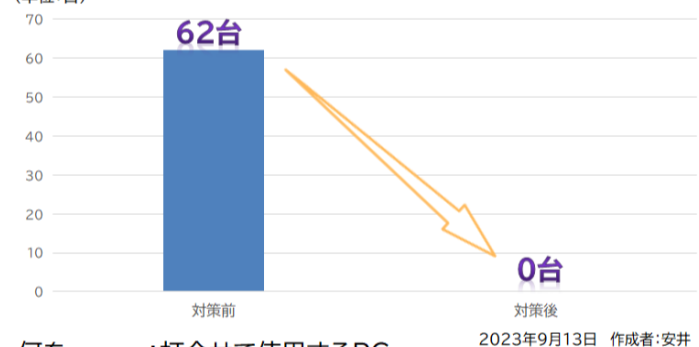
【11】現状の把握

■1時間未満の共有PCに絞って使用用途別に集計



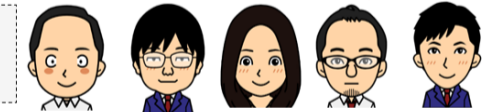
【12】目標の設定

低稼働の打合せ用PC

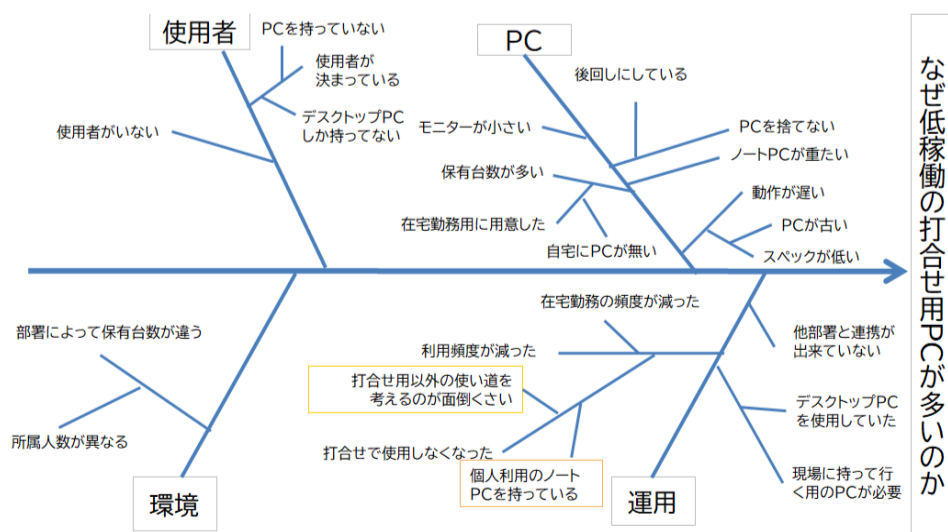


何を : 打合せで使用するPC
いつまでに : 2023年11月末までに
どれだけ : 62台削減する

【あるべき姿への貢献度】
(現状:1,059台 あるべき姿:509台)
(62台)/(1,059台-509台)=約11%



【13】要因の追求



真因①:個人利用のノートPCが増え打合せ用PCが不要になった
真因②:打合せ用以外の使い道を考えるのが手間

【14】要因の検証

真因①:個人利用ノートPCが増えて打合せ用PCが不要になった。

コロナ前後で個人ノートPCの所有者を比較

コロナ前(2019年度)
2/3 がノートPC
1/3 がデスクトップPC

現在(2023年度)
全社員がノートPC



個人利用のノートPCがあるから打合せ用PCを使わない!

【15】要因の検証

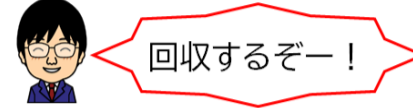
真因②: 打合せ用以外の使い道を考えるのが手間



【16】対策の検討

点数: ○=5点 △=3点 ×=1点

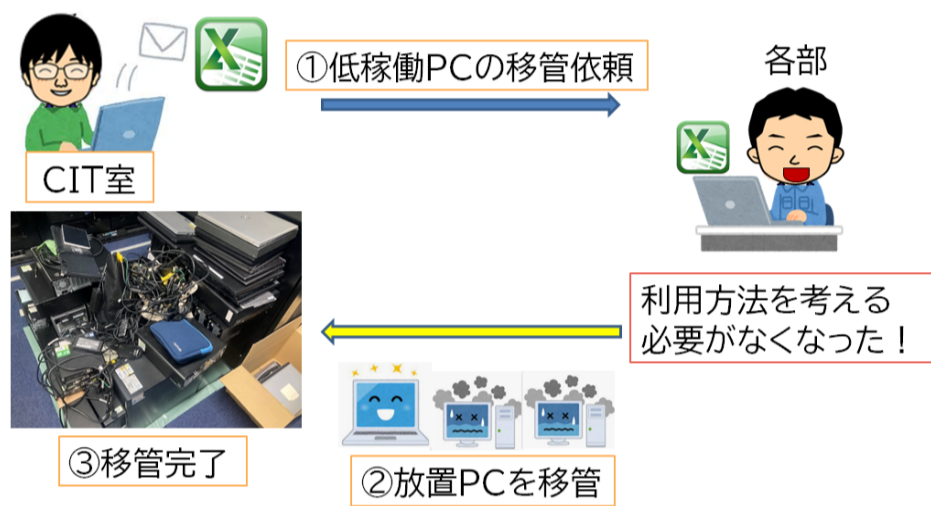
目的	1次手段	2次手段	3次手段	実現性	効果	費用	評価
不要となった共有PCを無くすには	低稼働PCを回収する	定期的に部内で必要・不要を判断	各部が不要となった時点で廃棄する	△	△	△	9
使い道がないPCを回収するには	低稼働PCを接続する	低稼働PCのリストを各部に配布し確認 各部でいつでも確認できるようにする	CIT室が低稼働リストを元にPCを回収	○	○	○	15
			各部で廃棄を促す人を選出する	×	○	△	9



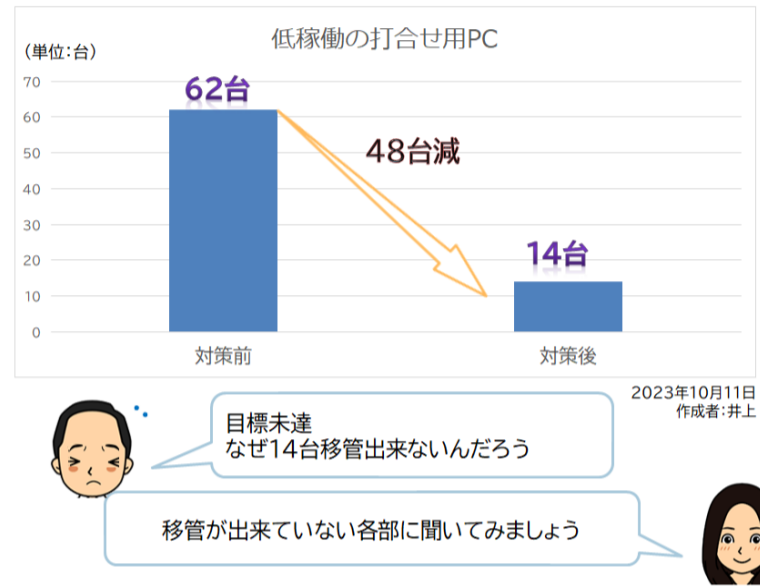
対策検討のマトリクス図
2023年10月7日
作成者: 清水

【17】対策の実施

CIT室が低稼働リストを元にPCを回収する



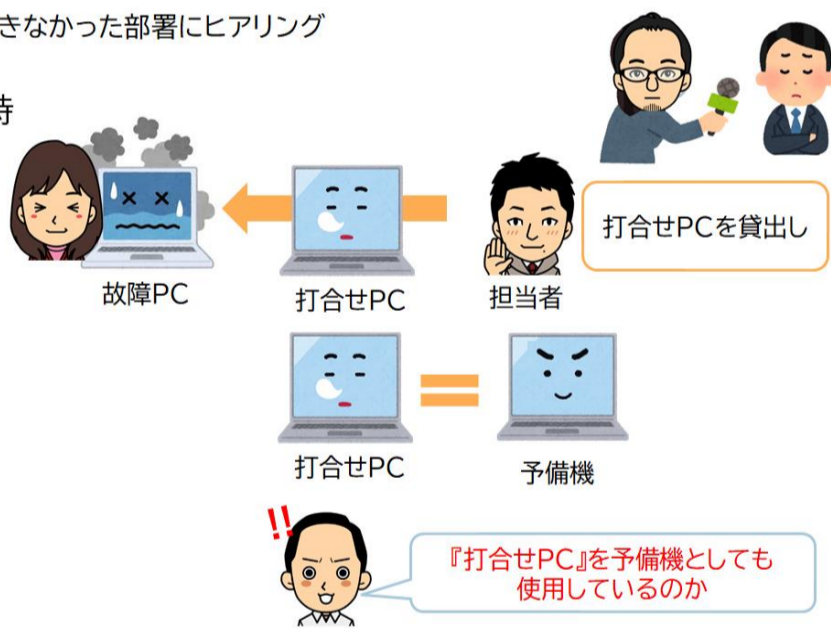
【18】効果の確認



【19】現状の把握

移管できなかった部署にヒアリング

故障時



【20】対策の狙い所

移管不可PCの使用用途を再度確認

【移管不可PCの使用用途】



【21】対策の検討

点数: ○=5点 △=3点 ×=1点

目的	1次手段	2次手段	3次手段	実現性	効果	費用	評価
各部の予備機をなくすには	常にPCを使える状態にする	予備機をまとめて管理する	CIT室でPCを貸出す	○	○	○	15
		PCを壊さないようにする	丁寧な使い方をマニュアル化する	×	×	○	7
		各部の予備機をCIT室が管理する	各部の予備機を回収する	×	○	○	11
		PCが故障したら修理をする	保守サポート外でも修理する	○	○	×	11

対策検討のマトリクス図
2023年10月17日
作成者: 清水



【22】対策の実施

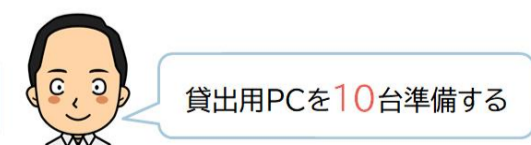
貸出し用PCの台数について



1年間で故障した台数は7台

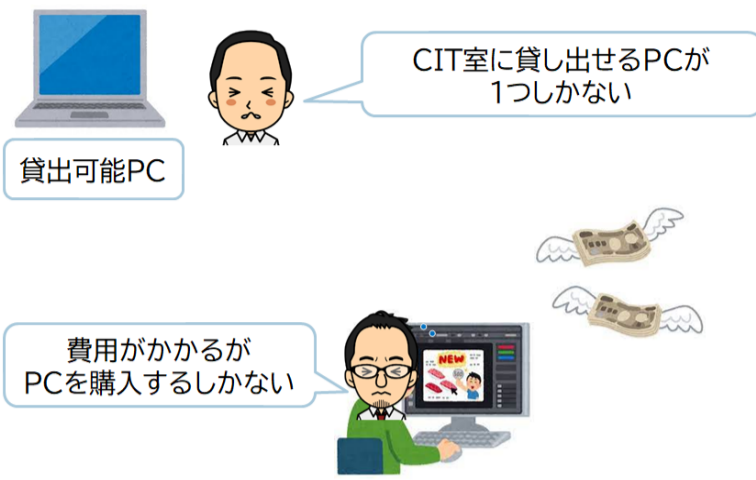


イベント時の貸出は3台

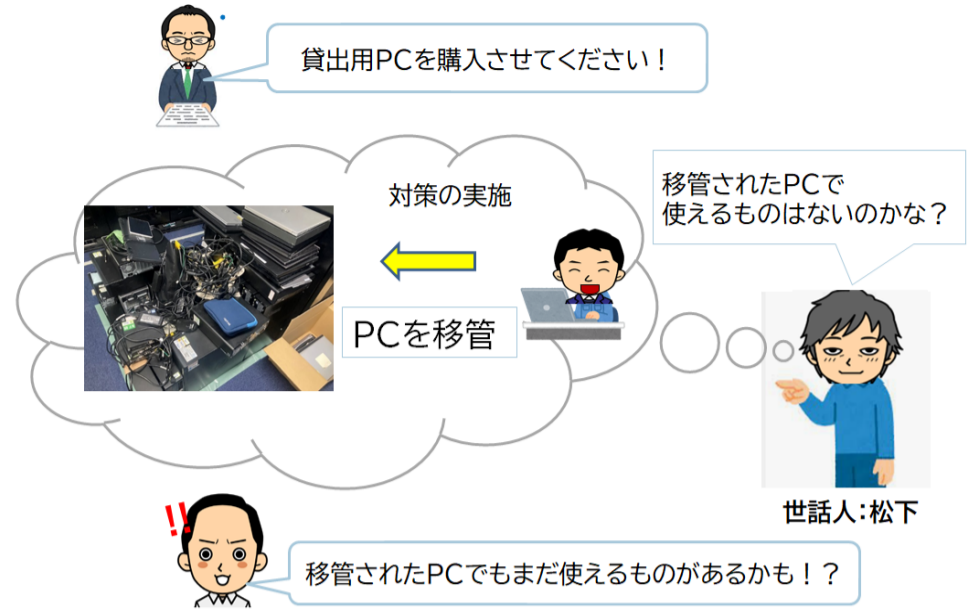


【23】対策の実施

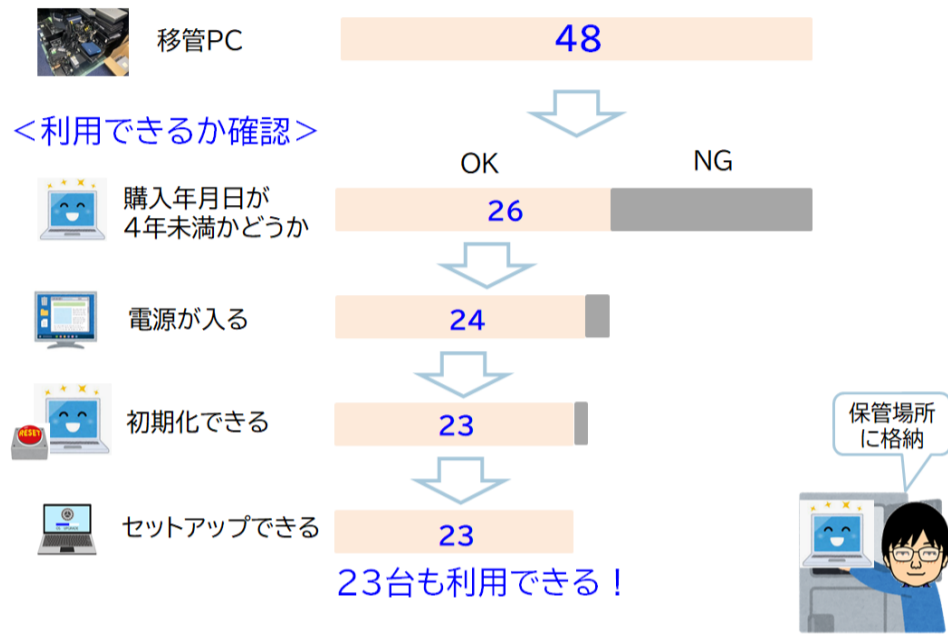
CIT室から貸し出せるPCの確認



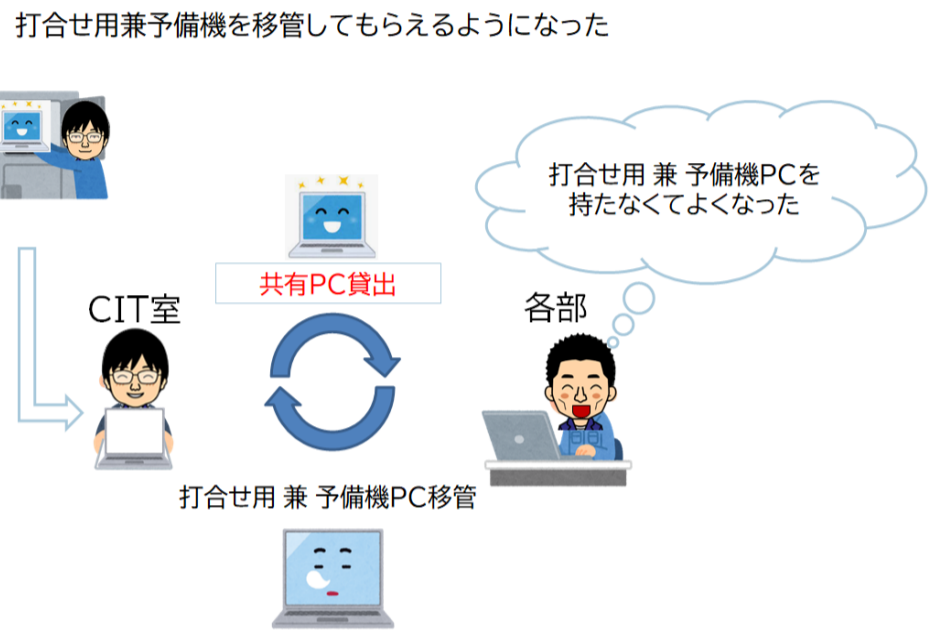
【24】対策の実施



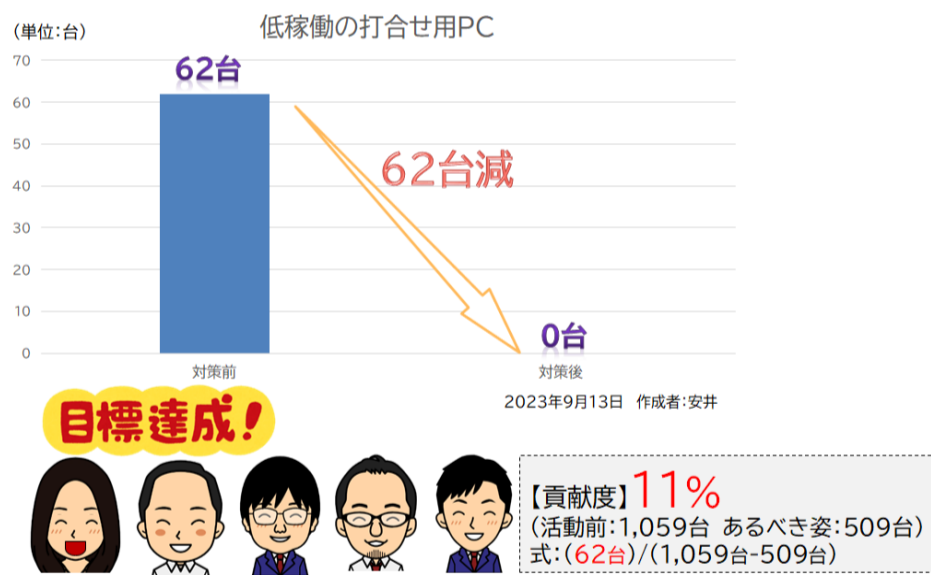
【25】対策の実施



【26】対策の実施



【27】効果の確認



【28】標準化と管理の定着

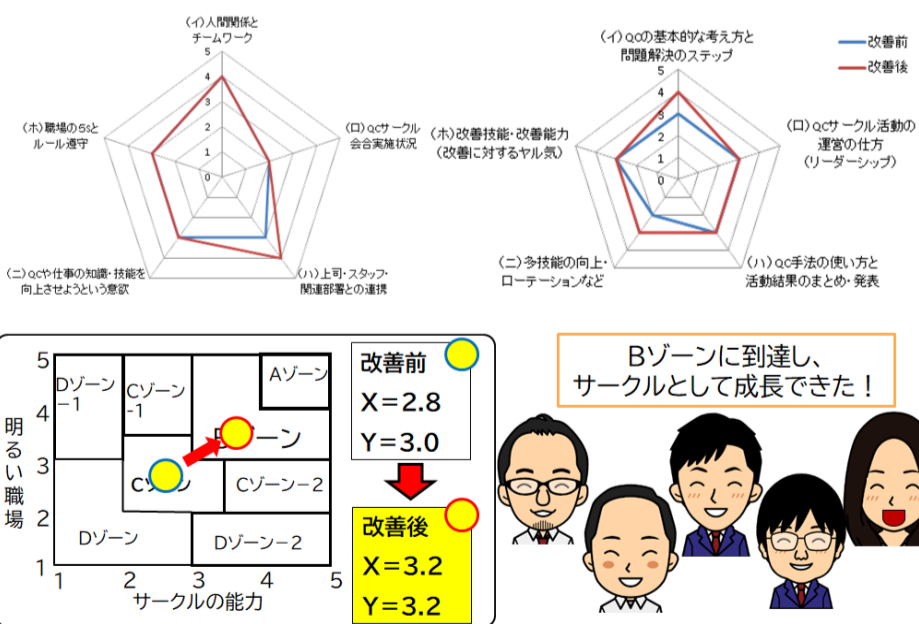
項目	なぜ	何を	誰が	いつ	どのように
標準化	各部不要PCを減らすため	低稼働PCリスト	CIT室	3か月に1回	各部へのメール展開
教育	各部への周知徹底	不要PC移管方法	CIT室	6か月に1回	各部へ実施内容の説明
管理	資産有効活用のため	各部から回収したPC	CIT室	PCが必要なおき	各部へ貸し出し

2023年10月24日 作成者:井上

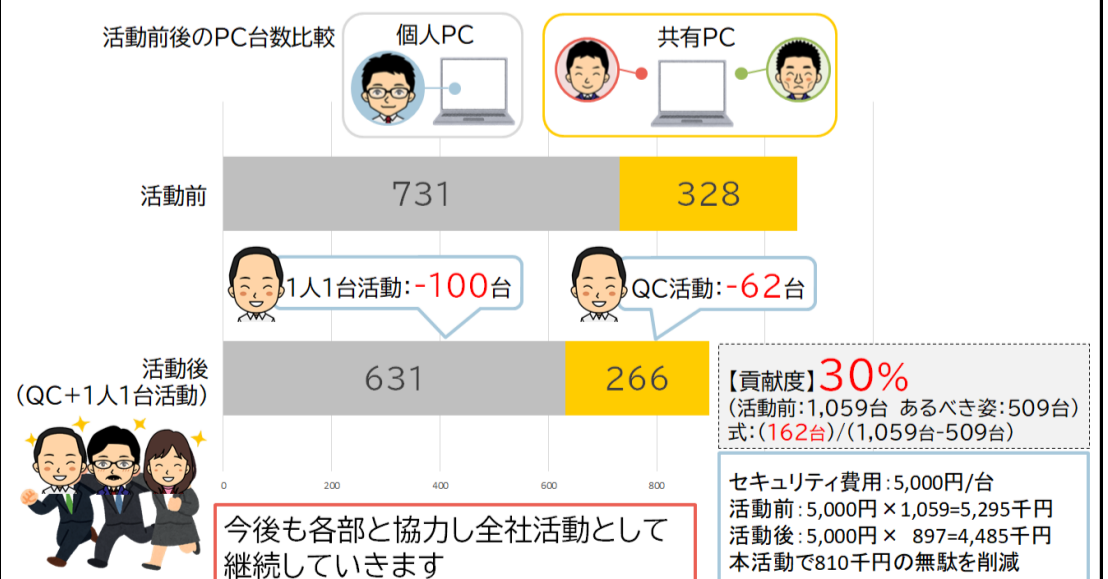


3か月に1回低稼働リストを展開することで適切なPC台数を保てるように管理していきます

【29】改善後のサークルレベルと反省



【30】まとめ



今後も各部と協力を全社活動として継続していきます